

新しい生き方、働き方を支援するインキュベータ

●株シンクタンク・ソフィアバンク 副代表

KUMI FUJISAWA 藤沢久美さん

PLATINUM WOMAN WHO's WHO

# 「あえていえば私の仕事は、企業と社会 個人と社会の仲立ちをする触媒人です」



## PROFILE

### ●生年月日

1967年3月15日

### ●学歴

大阪市立大学卒

### ●職歴

1996年日本初の投資信託評価会社・アイフィスを起業、代表取締役。1999年アイフィスをスタンダード&プアーズに売却。2000年シンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画、取締役。2003年社会起業家フォーラムを設立、副代表。2004年シンクタンク・ソフィアバンクをMBOし、副代表に

### ●休日の過ごし方

フラメンコ、乗馬。山梨県に別荘を持ち、週末は乗馬トレッキングなどをして過ごす

### ●毎日、実行していること

ストレッチ、家事、英語の勉強

### ●モチベーションが上がるひと言

ありがとう

### ●健康、美容のために気をつけていること

よく寝ること。毎朝、発芽玄米、有機野菜、寒天を摂る

### ●睡眠時間

6時間。基本は24時に寝て6時に起きる

### ●最近のマイブーム

整体。週2回、体の歪みを整えに行く

### ●心に残った本

田坂広志『ガイアの思想』

### ●定期的に読む(チェックする)雑誌、WEBページ

『日経ビジネス』、『日経トップリーダー』、グーグルニュース、Cネット、ユーチューブなど

八 面六臂の活躍とは彼女の  
ためにあるような言葉だ。  
投資活動やインキュベーター

ションについての講演や執筆、企業  
トップへのインタビュー、金融審議  
会委員などの多くの公職。さらにヤ  
ンググローバルリーダーとしてダボ  
ス会議に参加と、めまぐるしい日々  
を過ごしている。目下の課題は英語  
力をつけること。ダボス会議のデイ  
スカッションで自分の意見をしっか  
り発言できるようにするためだ。

「私は既存の枠に収まらない仕事を  
したいと考えています。あえていえ  
ば企業と社会、個人と社会などの仲  
立ちをする触媒人でしょうか。今は、  
男性よりも女性の方が活躍の場が広  
がっていると感じますね。家庭にい  
ても職場においても、社会の鍵を握  
っているのは女性です」

藤沢さんは大学卒業後、投資運用  
会社に勤務し、その後日本初の投資  
信託評価会社を興した。投資という  
手段を通して社会に意義のあること  
をしたいという思いが常に行動の根  
底にある。ネットワーク型のシンク  
タンクの副代表であり、起業家を応  
援するフォーラムの設立に携わった

のも、社会を変える礎と考えている。  
「社会変革のためにはひとりひとりの  
意識改革が大切です。自分の人生  
は誰かがどうにかしてくれと考  
えずに、精神的に自立し、自ら何か  
し行動を起こす。そのひとつの手段  
が自分への投資、企業への投資、社  
会への投資なのです」

また、企業の経営者らのインタビ  
ューと現場の取材を続けることで、  
多くのことを学んだという。

「リーダーの資質は、ぶれない軸を  
持っていることです。変化には対応  
するが、根本の筋が通っていること。  
難しいことですが、常にリーダーの  
コンパスが正しい方向を示さなけれ  
ば、社員はついてこないですよ」

藤沢さんは数年前に原因不明の体  
調不良に襲われ、完治までに1年か  
かったという。自分ではどうにもな  
らない苦しみを抱えた時に、精神的  
な苦痛に悩む人の気持ちに少し理解  
できたと話す。苦労は学びのチャン  
スと捉え、その困難に感謝し前に進  
む努力を惜しまない。キャリアを重  
ねることで、強くしなやかに成長す  
るさまは、真つ直ぐに伸びる若竹の  
ように清々しい魅力にあふれている。